

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援事業所 イノセント 【児童発達支援事業】			
○保護者評価実施期間	令和8年2月15日		～	令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和8年2月14日		～	令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月14日			
○事業所名	こども発達支援事業所 イノセント 【放課後等デイサービス事業】			
○保護者評価実施期間	令和8年2月15日		～	令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和8年2月14日		～	令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月14日			
○事業所名	こども発達支援事業所 イノセント 【保育所等訪問支援事業】			
○保護者評価実施期間	令和8年2月15日		～	令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和8年2月14日		～	令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月15日		～	令和8年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組、充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性やペースに合わせた支援プログラム(集団・個別)を柔軟に提供しています。発達段階やその日の状態に寄り添いながら、環境調整や関わり方の工夫を通して、子どもが安心して力を発揮できる最適な支援を心がけています。	個々の子どもたちに合わせた支援に取り組んでおり、それぞれの嗜好や強みを活かした活動内容について、職員間で話し合いながら丁寧に進めています。 活動計画においては、日々の成長につながるよう、さまざまな体験を通して多くの刺激や学びが得られるよう工夫しています。四季折々の自然や行事も取り入れながら、子どもたちが「やってみたい」「できた」を積み重ねられる活動に取り組んでいきます。 また、子ども一人ひとりの興味や課題に応じた療育や集団活動を計画する際には、発達の5領域を意識しながら内容を充実させていきたいと考えています。各領域がバランスよく育まれるよう、個々の特性を踏まえた活動設定を行い、日々の成長につながる支援を丁寧に積み重ねていきます。
2	環境面の充実も大きな強みです。中庭には砂山や遊具を3基設置しており、いつでも屋外に出て身体を動かせる環境を整えています。さらに、徒歩2分の場所には大型公園があり、広いスペースや大型遊具を活用した活動が可能です。	これらの環境を活かし、子どもの状態や目標に応じて活動場所を柔軟に選択したり、遊具を使った運動課題・社会性の学びを自然に経験できるよう工夫しています。また、活動前には視覚的な見通しを示し、安心して参加できるよう支援しています。地域の公園を利用することで、社会参加の経験の育ちや自然や遊びの中での学びを大切にしながら、子どもたちがのびのびと過ごせる恵まれた環境を活かした支援を今後も取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他の子どもとの交流機会との活動をする機会が少ない。また、地域住民を招待するなどの行事もあまり出ていない。	地域のイベントや図書館での読み聞かせ会など参加する機会を増やし、身近な場所で地域住民の方々と地域の子どもたちと交流できる様にしていきます。また事業所行事なども企画・検討しながら、地域とのつながりが深める取り組みを進めていけたらと思います。
2	アンケートの結果から、活動内容や行事予定、災害時等の対応や各種訓練や研修の実施についての周知に改善があることが伺えました。	面談時や連絡帳、SNS などを通じて各種情報の発信に努めていましたが、十分にお伝えしきれなかった点が要因の一つとして受け止めております。 今後は、面談や連絡帳に加え、SNS (Instagram) での発信もこれまで以上に充実させ、訓練内容や活動の様子(行事・日々の取り組みなど)について、より分かりやすく周知できるよう努めたいと思います。